

### 【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<べんきょうすること>

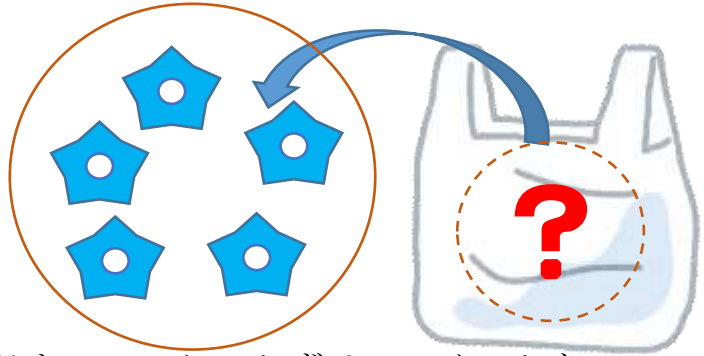
◆「いくつといくつ」（きょうかしよ 35～40 ページ）

ふくろの なかには、おはじきが 8こ はいています  
あか がいくつ で あお がいくつかな？

(1) 5ことったとき、

ふくろのなかには

こはいています。



※ふくろのなかにある おはじきののりのかずは いくつかな。

ゆびで あらわしている かずは？

こ と こ      こ と こ

(2) 8 は、5 と  にわけられます。

と  にもわけられます。

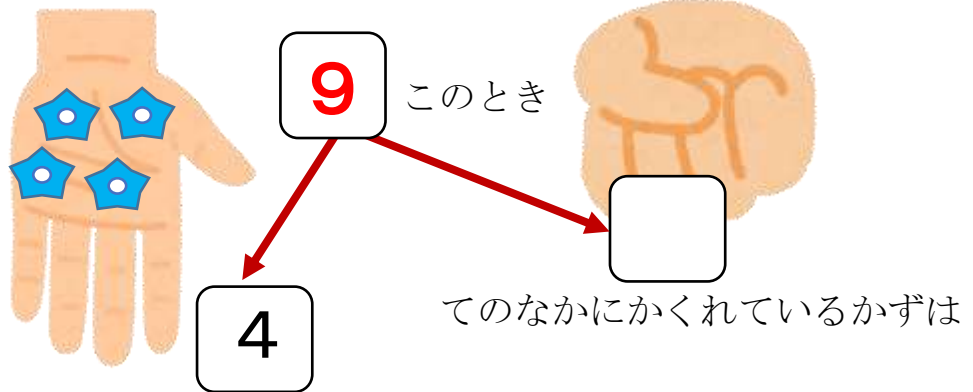
※ほかのわけかたもあるかな？ノートかとりくみシートにかいてみよう。

8も、2つのかずに わけることができたね。  
ほかのかずでもできるかなのかな…。

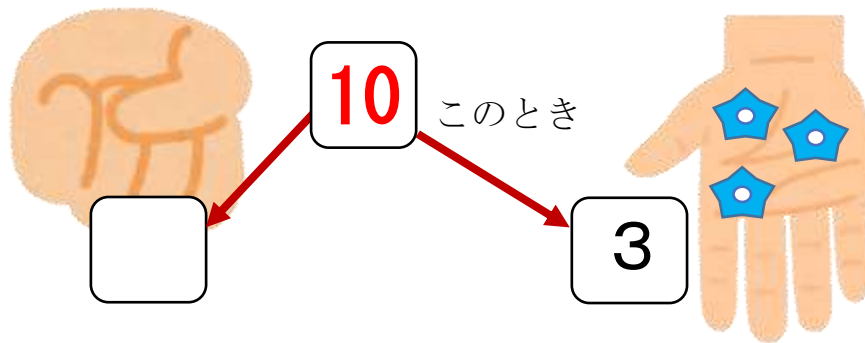


2つのかずに 9や10をつくることが できるかな？

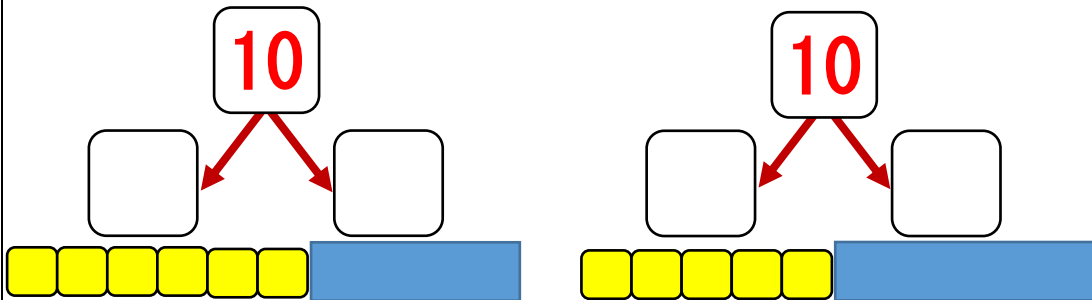
かくした おはじきは いくつかな？



もし さいしょに 10こ もっていたら…？



あおいしかくのなかにかくれているかずは



<この べんきょうで、わかったことや、きづいたこと、  
おもしろかったところを、おうちのひとに おはなししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P35～40）

- ・前回の課題で5、6、7について学習しています。その学習を使って、8、9、10について考えていきます。算数では、学習したことを使って、次の学習を考えるということが大事で、6年間継続して使う考え方になります。
- ・片方が分かっているとき、もう片方を予測するという 것도大事な学習です。